

技術者・研究者向け

1名分料金で
2人目無料

特許の効率的な読み方と強い明細書の書き方

- ◆日時:【オンライン】2026年1月29日(木) 13:00~16:30
【アーカイブ】2026年2月2日(月)~2月9日(月)
- ◆形式:ZoomによるWEB配信(自宅や職場のPCで受講可)
- ◆聴講料:1名につき44,000円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合、1名につき**33,000円(税込)**
・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で44,000円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

HPはこちらから ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2601122>

[講師] 弁理士法人 来知国際特許事務所 弁理士 宇高 克己 氏

[受講対象]

- ・主にメーカーの研究者・開発者・技術者
- ・その他、企画部門・管理部門・知財部門などの方

[習得できる知識]

- ・特許明細書の書き方のポイント
- ・特許明細書の読み方のポイント
- ・侵害事件に際しての権利者側・侵害者側の対処

[講座のポイント]

知財が専門ではない技術者・研究者にも分かりやすく特許明細書の読み方・書き方を解説します。初心者・経験者を問わず、留意点に配慮しつつ基礎から丁寧に、そして具体的な明細書を例示しながら説明を進めます。
本セミナーでは、平易な明細書であれば、弁理士の力を借りずに自社内で作成できるようになることを目指します。

[プログラム]

- 特許明細書の基礎
 - 特許とは何か? 発明とは何か?
 - 何が発明なのか?
 - 新規性とは何か?
- 特許明細書の読み方
 - 特許明細書には何が書かれているのか
 - 特許明細書に書かれた文章の特殊性
 - 一般に読みやすく美しいとされている日本語との違いとその理由
 - どのような文章がよいのか

- 特許明細書の読み方とその極意
 - 記載項目ごとの読みのポイント
 - 特許請求の範囲:権利範囲についての留意点
 - 何が記載されているか
- 特許明細書の書き方:各項目の特徴と記載上の留意点
 - 【発明の名称】
 - 【産業上の利用分野】
 - 【従来技術:背景技術】
 - 【発明が解決しようとする課題】
 - 【発明の効果】
 - 【課題を解決するための手段】
 - 【発明の実施の形態】
 - 全ての請求項をサポートする記載
 - 構成→作用→効果
- 請求項の書き方についてのポイント
 - どのような書き方がよいのか
 - どんな言葉を使うのがよいのか?
 - 発明が不明確になる言葉は×
 - 限定し過ぎになる言葉は使用不可
 - 不適切な言葉・使ってはならない言葉は?
 - 明細書作成の一番の上達法
- 特許明細書を巡るその他の留意点
 - 特許戦争:カエサル時代~第二次世界大戦の戦史に学ぶ
 - 裁判官は何を見ているのか
 - 均等論での対処は
 - 結局、どうすれば勝利できるのか
 - 化学分野に特徴的な数値限定発明の要点

【質疑応答】

※職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法などは申込後にご連絡いたします。

『特許明細書』セミナー申込書 ※ご希望の受講形式どちらかにチェックを入れて下さい⇒☐ オンライン ☐ アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書などをお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>